

中小企業景況調査報告書（愛知県概略版）

（平成29年7月～9月期実績、平成29年10月～12月期見通し）

1 県内商工会地区における産業全体景況

売上額D I、採算D I、資金繰りD I、すべての指標が悪化































今期の産業全体の景況は、売上額D Iが△22.5、採算D Iが△22.6、資金繰りD Iが△11.4となり、対前期比でそれぞれ13.4ポイント、6.9ポイント、8.6ポイント減少し、すべての指標が悪化した。特に、売上額D Iは2ケタのマイナスとなった。

次期は、売上額D I、採算D Iが好転するが、プラスは小幅にとどまる見通しである。業種別では、全業種ですべての指標が悪化、低下した。

産業全体の主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △22.5（対前期比 △13.4 悪化） 次期予想 △21.6（対前期比 0.9 好転）
- ・採算D I △22.6（対前期比 △6.9 悪化） 次期予想 △21.0（対前期比 1.6 好転）
- ・資金繰りD I △11.4（対前期比 △8.6 悪化） 次期予想 △13.2（対前期比 △1.8 低下）

産業全体景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
28年10月～12月		△16.3 		△18.1 		△11.9 
29年1月～3月		△24.4 		△20.4 		△14.2 
29年4月～6月		△9.1 		△15.7 		△2.8 
29年7月～9月		△22.5 		△22.6 		△11.4 
29年10月～12月 （見通し）		△21.6 		△21.0 		△13.2 

2 業種別景況

(1) 製造業

製造業は採算D Iが大幅に悪化

製造業では、売上額D Iが△11.4、採算D Iが△29.4、資金繰りD Iが△8.8となり、対前期比でそれぞれ8.5ポイント、17.9ポイント、8.8ポイント減少し、すべての指標が悪化した。

前期は、すべての指標が好転したが、今期は、採算D Iが2ケタのマイナスとなるなど、すべての指標が悪化に転じた。

売上額D I、採算D I、資金繰りD Iともに、平成27年4～6月期より、四半期ごとに好転、悪化を繰り返している。

次期は、売上額D I、資金繰りD Iが低下する見通しである。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △11.4 (対前期比 △8.5 悪化) 次期予想 △11.5 (対前期比 △0.1 低下)
- ・採算D I △29.4 (対前期比 △17.9 悪化) 次期予想 △23.6 (対前期比 5.8 好転)
- ・資金繰りD I △8.8 (対前期比 △8.8 悪化) 次期予想 △11.7 (対前期比 △2.9 低下)

製造業景況天気図

時 期	売上額D I			採算D I			資金繰りD I		
	天気	値	変化	天気	値	変化	天気	値	変化
28年 10月～12月		△19.5	↑		△11.7	↑		△8.3	↑
29年 1月～3月		△39.9	↓		△14.3	↓		△20.6	↓
29年 4月～6月		△2.9	↑		△11.5	↑		0.0	↑
29年 7月～9月		△11.4	↓		△29.4	↓		△8.8	↓
29年 10月～12月 (見通し)		△11.5	↓		△23.6	↑		△11.7	↓

(2) 建設業

建設業は売上額D I、採算D Iが大幅に悪化

建設業では、売上額D Iが△25.0、採算D Iが△29.2、資金繰りD Iが△16.0となり、対前期比でそれぞれ12.5ポイント、12.5ポイント、2.9ポイント減少し、すべての指標が悪化した。































前期は、すべての指標が好転したが、今期は、売上額D I、採算D Iが2ケタのマイナスとなるなど、すべての指標が悪化に転じた。

次期は、売上額D I、採算D Iが好転する見通しである。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △25.0 (対前期比 △12.5 悪化) 次期予想 △17.4 (対前期比 7.6 好転)
- ・採算D I △29.2 (対前期比 △12.5 悪化) 次期予想 △25.0 (対前期比 4.2 好転)
- ・資金繰りD I △16.0 (対前期比 △2.9 悪化) 次期予想 △16.6 (対前期比 △0.6 低下)

建設業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
	天気	値	天気	値	天気	値
28年10月～12月		8.4 		4.2 		4.4 
29年1月～3月		△25.0 		△29.2 		△16.7 
29年4月～6月		△12.5 		△16.7 		△13.1 
29年7月～9月		△25.0 		△29.2 		△16.0 
29年10月～12月 (見通し)		△17.4 		△25.0 		△16.6 

(3) 小売業

小売業は採算D Iが3期連続で低下

小売業では、売上額D Iが△40.8、採算D Iが△32.6、資金繰りD Iが△20.8となり、対前期比でそれぞれ11.7ポイント、2.0ポイント、12.6ポイント減少し、すべての指標が悪化、低下した。

売上額D I、資金繰りD Iが2ケタのマイナスとなり、採算D Iは3期連続で低下した。































他の業種と比べ、売上額D I、採算D Iとも2ケタのマイナスが長く続いており、状況は厳しい。

次期は、売上額D Iが好転する見通しである。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △40.8 (対前期比 △11.7 悪化) 次期予想 △33.3 (対前期比 7.5 好転)
- ・採算D I △32.6 (対前期比 △2.0 低下) 次期予想 △33.3 (対前期比 △0.7 低下)
- ・資金繰りD I △20.8 (対前期比 △12.6 悪化) 次期予想 △20.8 (対前期比 0.0 横這)

小売業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
28年 10月～12月		△20.9 		△18.3 		△10.2 
29年 1月～3月		△36.1 		△25.5 		△18.7 
29年 4月～6月		△29.1 		△30.6 		△8.2 
29年 7月～9月		△40.8 		△32.6 		△20.8 
29年 10月～12月 (見通し)		△33.3 		△33.3 		△20.8 

(4) サービス業

サービス業は3期ぶりにすべての指標が悪化

サービス業では、売上額D Iが $\Delta 14.3$ 、採算D Iが $\Delta 10.0$ 、資金繰りD Iが $\Delta 4.4$ となり、対前期比でそれぞれ17.1ポイント、2.9ポイント、7.3ポイント減少し、すべての指標が悪化した。































前期まで2期連続ですべての指標が上昇していたが、今期は、売上額D Iが2ケタのマイナスとなり、マイナスの数値に転じた。また、資金繰りD Iもマイナスの数値となった。

次期は、売上額D I、資金繰りD Iが低下するが、採算D Iは横ばいとなる見通しである。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I $\Delta 14.3$ (対前期比 $\Delta 17.1$ 悪化) 次期予想 $\Delta 20.0$ (対前期比 $\Delta 5.7$ 低下)
- ・採算D I $\Delta 10.0$ (対前期比 $\Delta 2.9$ 悪化) 次期予想 $\Delta 10.0$ (対前期比 0.0 横這)
- ・資金繰りD I $\Delta 4.4$ (対前期比 $\Delta 7.3$ 悪化) 次期予想 $\Delta 7.3$ (対前期比 $\Delta 2.9$ 低下)

サービス業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
28年10月~12月		$\Delta 20.0$ 		$\Delta 28.6$ 		$\Delta 20.3$ 
29年1月~3月		$\Delta 8.5$ 		$\Delta 17.1$ 		$\Delta 7.2$ 
29年4月~6月		2.8 		$\Delta 7.1$ 		2.9 
29年7月~9月		$\Delta 14.3$ 		$\Delta 10.0$ 		$\Delta 4.4$ 
29年10月~12月 (見通し)		$\Delta 20.0$ 		$\Delta 10.0$ 		$\Delta 7.3$ 

3 設備投資の状況

	今期実施		来期計画	
	実施企業割合	主な投資内容	計画企業割合	主な投資内容
製造業	17.1%	工場建物、生産設備 車両運搬具、付帯施設 その他	11.4%	土地、工場建物 生産設備、車両運搬具 付帯施設、OA機器 福利厚生施設、その他
建設業	4.0%	建設機械、OA機器	8.0%	車両運搬具、付帯施設
小売業	6.1%	車両運搬具、付帯施設	4.1%	販売設備、車両運搬具
サービス業	10.0%	土地、建物、サービス 車両運搬具、付帯施設 その他	5.7%	建物、車両運搬具 付帯施設、OA機器

4 経営上の問題点

業種	順位	問題点の内容	割合
製造業	1位	需要の停滞	24.2%
	2位	製品ニーズの変化	18.2%
	3位	製品（加工）単価の低下、上昇難	15.2%
建設業	1位	民間需要の停滞	26.7%
	2位	大企業の進出による競争の激化	13.3%
		請負単価の低下、上昇難	
その他			
小売業	1位	需要の停滞	22.7%
	2位	大型店・中型店の進出による競争の激化	20.5%
	3位	購買力の他地域への流出	15.9%
サービス業	1位	需要の停滞	27.6%
	2位	利用者ニーズの変化	17.2%
	3位	店舗施設の狭隘・老朽化	12.1%

中小企業景況調査について

1 調査目的

この調査は、四半期毎に、全国商工会連合会が行う中小企業景況調査から愛知県内商工会地区における経済動向等に関する情報の分析を行い、効果的な経営支援の実施ならびに事業活動の参考とすることを目的とする。

2 調査要領

(1) 調査対象時期

平成29年7月から9月の第2四半期を対象とし、調査時点は平成29年9月1日。



(2) 調査対象企業

愛知県内12商工会地区内180企業。(内訳：製造業35企業、建設業25企業、小売業49企業、サービス業71企業)。

(3) 各調査項目の数字及び記号の説明

本報告書中のD Iとは、景気動向指数と呼ばれるもので、各調査項目についての増加(上昇、好転)企業割合から減少(低下、悪化)企業割合を差し引いた数値。

この数値と記号の関係については、下記のとおり

 雨 △100.0～△60.1	 曇 △ 60.0～△20.1	 薄曇 △ 20.0～20.0	 晴れ 20.1～60.0	 快晴 60.1～100.0
---	---	---	---	--

平成29年10月10日作成

愛知県商工会連合会 広域経営支援センター

TEL : 052-562-0041